

令和6年度 香取市デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ） 効果検証結果

1.行政手続オンライン化推進事業(TYPE I)【秘書広報課】

●概要

現在、申請や申込はほぼ紙や電話のみでの受け付けとなっており、市民は平日の日中に来庁して手続きをしなければならない状況にある。

そこで、LINE公式アカウントと連携した市民との双方向のコミュニケーションを可能にする機能を実装することで、時間や場所を選ばずオンラインで手続きを可能とし、市民の利便性の向上とともに、職員の窓口対応の負担軽減を図る。

→R6.8運用開始

●申請額（単位：千円）

・システム利用料	5,400
・ユーザー追加利用料	600
・プロモーション費用	1,000
・合計	7,000

KPI	目標値	実績値
LINE友達登録者数	4,000人	4,394人
オンラインで実施できる手続件数	20手続き	15手続き
市民へのアンケート調査	210ポイント	231ポイント
LINE友達登録者への満足度調査	3.5%	3.8%

2.住民に寄り添った相談・支援業務を行うためのデジタル技術活用事業(TYPE S)【社会福祉課】

●概要

社会福祉課課及び千葉県並びに県内7市合同で、相談業務の業務改善につながるデジタル技術を活用したソリューションの導入や相談記録プラットフォームのプロトタイプの開発を行う。

相談対応時における音声マイニングシステム（音声文字起こし）の活用による相談記録業務の省力化・効率化を図る。

→R6.10運用開始

●申請額（単位：千円）

・音声マイニング導入費	2,200
・音声マイニング機器類	418
・生成AI初期設定費用	220
・ライセンス料等	2,046
・合計	4,884

KPI	目標値	実績値
プロトタイプ開発に関わった職員のうち、当該プロトタイプに沿ったシステムの実装を強く希望する又は希望する者の割合	7割	7割
プロトタイプの開発または利用に関わった都道府県の部署数及び職員数、市町村の数、その部署及び職員数、並びに関係機関の数及び職員数	50名以上	142名



令和7年度 新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装タイプ） 活用状況

1.らくらく窓口証明発行サービス導入事業(TYPE I)【総務課】

●概要

現在の証明書取得窓口は、申請書記入し交付する流れになっているが、記載間違いやそれに伴う職員での修正指示なども多く、窓口は常に混雑している。

マイナンバーカードを利用し、証明書取得時に申請書の記入を求めない『らくらく窓口証明発行サービス』を導入し、併せて同様の手順となるコンビニ交付へのシフトを促すことにより、窓口混在の緩和及び職員の負担軽減を図る。

→R7.1運用開始予定

●申請額（単位：千円）

・機器購入	2,088
・合計	2,088

KPI	目標値
らくらく窓口サービス利用件数	200件
証明書取得所要時間	-20分
らくらく窓口証明書交付サービス利用者満足度	20%
コンビニ交付利用件数	10,000件

2.公立保育所ICT化事業(TYPE I)【子育て支援課】

●概要

公立保育所の連絡手段は、紙や電話等アナログであり、保護者にとって負担となっている。

そこで、公立保育所6箇所へ「保育業務支援システム」を導入することにより、ICTアプリを活用し保護者と保育所双方の連絡がアプリ上で可能となり利便性が向上する。また、保育現場の業務効率化により「保育の質の向上」及び「保育士の離職率減少、就職率の向上」を図る。

→R8.2運用開始予定

●申請額（単位：千円）

・導入委託料	1,540
・システム利用料	3,296
・端末機器利用料	4,788
・セキュリティソフト利用料	608
・ネットワーク回線料	912
・端末保守	704
・合計	11,848

KPI	目標値
保育業務支援システムの導入機能数	3機能
保護者への発信や連絡に占める保護者連絡アプリの利用割合	50%以上
システム利用満足度(保護者・職員)	3.5%
保護者の連絡対応の削減時間	-10分

